

# 学習課題(小学校6年生)



## 【理科】

<学習内容> 「植物のからだのはたらき」

◆ 「2 植物と日光のかかわり」(教科書 61～65 ページ) について、取組シートやノートにまとめましょう。

(1) 5 年生のときの学習で、植物が発芽後よく成長するためには、日光が必要であることを学びました。

- ①植物がよく成長するために日光が必要なのは、どうしてなのか、教科書 61 ページを見て、考えを書きましょう。
- ②植物の葉に日光が当たるとでんぷんができるかどうか調べます。どのような調べ方にすればよいか教科書 62 ページを見て、考えましょう。また、次のような条件ではどのような結果になりそうか考えを書きましょう。

調べる時間	用意する葉	ヨウ素液をつけたときの色の变化
朝	㊦ 前日からおおいをしておいた葉	変化する・変化しない
午後	㊧ おおいを外して日光に当てた葉	変化する・変化しない
	㊨ おおいをしたままの葉	変化する・変化しない

(2) 教科書 63～65 ページ「実験 3」を学習して、植物の葉に日光が当たるとでんぷんができるかどうか調べます。

初めに：前日の午後に、ジャガイモの葉にアルミニウムはくを使っておおいをします。一晩そのままにします。

- ①その後㊦㊧㊨のように条件を変えて、でんぷんがあるか調べると、それぞれどのような変化が起こるか、教科書 64 ページの結果を見て、書きましょう。
- ②結果からどのようなことが言えるか、考えを書きましょう。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School 「植物を育てるのは」

[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das\\_id=D0005110266\\_00000](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005110266_00000)



<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、二つの実験を通して、植物は成長に必要なでんぷんを自ら作り出していることに気付くことを大切にしています。
- ・「葉に日光を当てる前と後で、でんぷんの量はどのように変わったのかな」などと声をかけることで、植物が自らでんぷんをつくりだしていることに着目することができます。